

## はなバスの乗降調査について

### 1. はじめに

はなバスの運行は、市とバス事業者が締結した協定に基づき、市が運行に係る経費と収入の差額分を補助金として負担し、バス事業者がバスの運行を担っています。

平成 28 年度以降、ルート見直しの効果により利用者は増加傾向にありましたが、総走行距離の増加や車両の購入等の運行経費の増加により、運行補助金は、増加しています。さらに、令和元年度から現在に至るまで、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少により、運行補助金がさらに増加しています。

このような状況から、今後の持続的な運行に向けて、公共交通としてのはなバスのあり方や費用対効果などを検討し、適切に事業を評価する必要があります。

そのため、今回の調査では、従来定期的実施してきた調査内容に、新型コロナウイルス感染症の影響によるはなバスの利用状況の変化や、新しい生活様式の定着に伴う市民意識変容の把握という新たな視点を加え、利用実態等の調査を実施する予定です。

### 2. 調査実施の方向性

これまでは、約 4 年に 1 回調査を実施しており、運賃の改定やルート見直しの効果を検証することを主な目的として実施してきました。次回の調査については、これまでの調査項目に以下の視点を追加して実施します。

- (1) はなバスの利用や日頃の移動に関する意識や動向の変化を捉え、新型コロナウイルス感染症の影響を把握します。
- (2) はなバス事業の現状（利用者数、補助金額、公費負担額等）を示し、今後のはなバスの持続的な運行に向けたあり方等について、利用者を含めた市民意識を把握します。

### 3 はなバス乗降調査の概要

#### (1) バス停間乗降（OD）調査（予定）

- ① 調査時期 令和 4 年 6 月（前回調査と同時期）の平日、休日の各 1 日
- ② 調査方法 全ルート、全便に調査員が乗車し、利用者の乗車停留所及び降車停留所等を調査する。

#### (2) 利用者アンケート調査（予定）

- ① 調査時期 バス停間乗降（OD）調査と同時に実施
- ② 調査方法 はなバスに乗車した調査員が利用者に対し、はなバスの利用に関するアンケート調査票及び返信用封筒を配布し、郵送等で回答を回収する。
- ③ 調査票配布数 6,000 部

### (3) 市民アンケート調査（予定）

- ① 調査時期 バス停間乗降（OD）調査と同時期に実施
- ② 調査方法 無作為抽出した世帯に対し、はなバスの利用や日常の移動に関するアンケート調査票及び返信用封筒を配布し、郵送等で回答を回収する。
- ③ 調査票配布数 3,000 世帯

※ 調査時期については、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、見直す場合があります。

## 4. 前回調査との主な変更点

調査方法	主な変更点
バス停間乗降調査 （OD調査）	平成30年度と比較するため、変更なし。 <参考：調査項目> 乗車及び降車停留所、性別、年代等の属性、運賃支払方法
利用者アンケート調査  市民意識調査 （市民アンケート）	・新型コロナウイルス感染症拡大前後のはなバスの利用及び日頃の移動に関する意識と動向に関する質問を追加します。 ・はなバス事業の現状（利用者数、補助金額、公費負担額等）を示し、現在の運行形態、サービスや運行補助金等に関する評価項目を追加します。

## 5. 利用者アンケート調査・市民意識調査に関するアンケート票の構成について

現時点では、アンケート票の冒頭に、はなバスの利用状況や公費負担の状況を提示した上で、設問への回答に進む構成となっています。

設問は、大きく分けて以下の5つの項目を設定し、各項目について詳細項目（検討中の内容は資料1-2参照）、対応する設問を設定していく予定です。

- ① 個人属性
- ② 利用実態
- ③ はなバスの運行評価
- ④ 公費負担に関する評価
- ⑤ 地域公共交通としてのあり方の評価